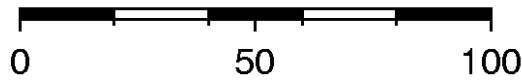


青森県

km

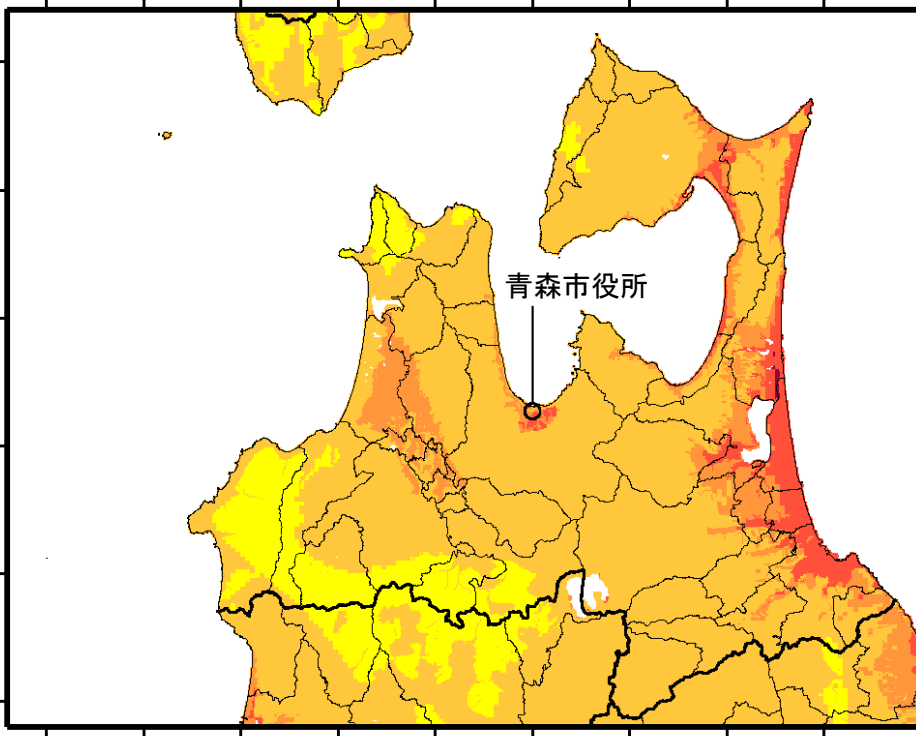


139.5°E 140°E 140.5°E 141°E 141.5°E

41.5°N

41°N

40.5°N



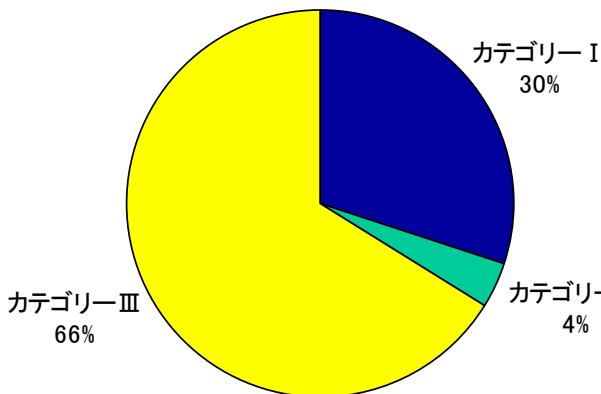
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

平野部(津軽平野、青森平野、三本木原など)や沿岸部では、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。また東部では、海溝型地震(カテゴリーⅠ、Ⅱ)の影響が大きくなります。

青森市役所：やや高い。

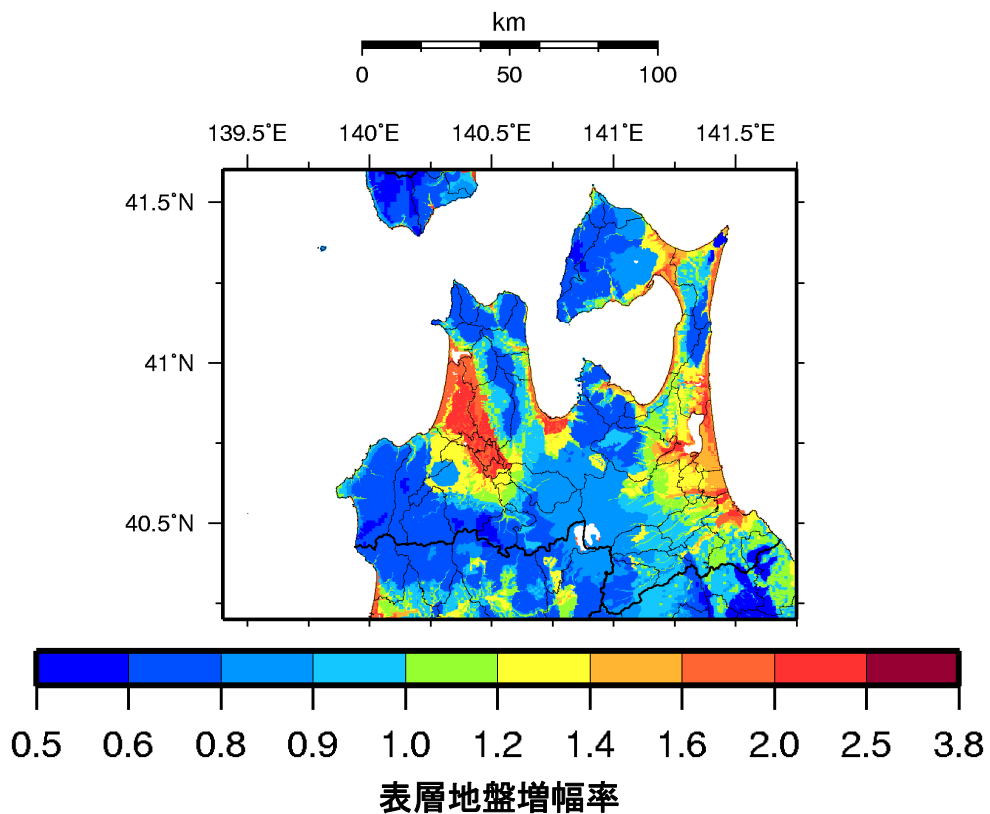
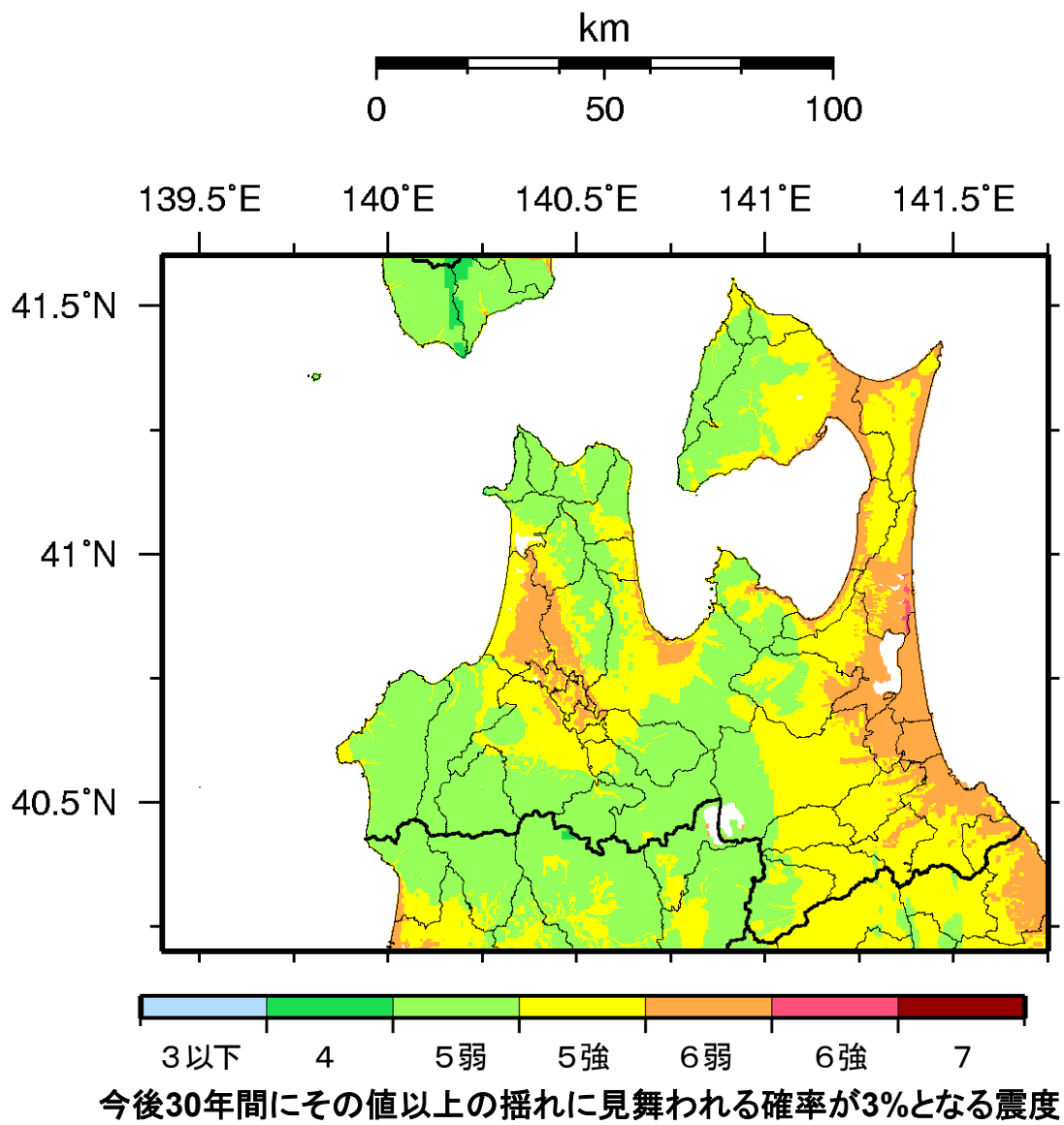
カテゴリーⅢの地震の影響度が最も高くなっています。活断層が特定されていない場所で発生する地震や、主要活断層帯の地震(近傍の青森湾西岸断層帯の地震)によるものと考えられます。また、三陸沖北部の地震(カテゴリーⅠ)の影響度も相対的に高くなっています。



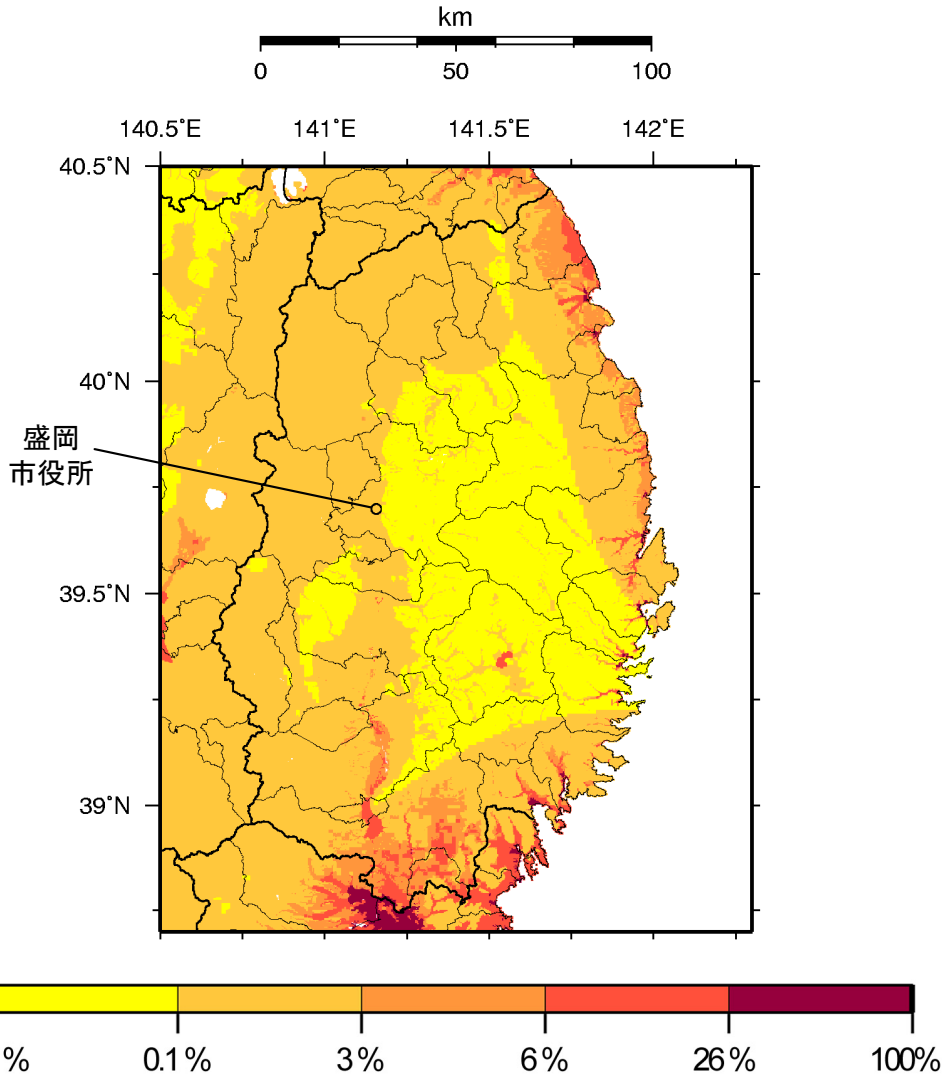
カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

青森市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

※ 青森県西方沖の久六島については、計算に必要なデータが整備されていないため、地図を作成していません。



岩手県



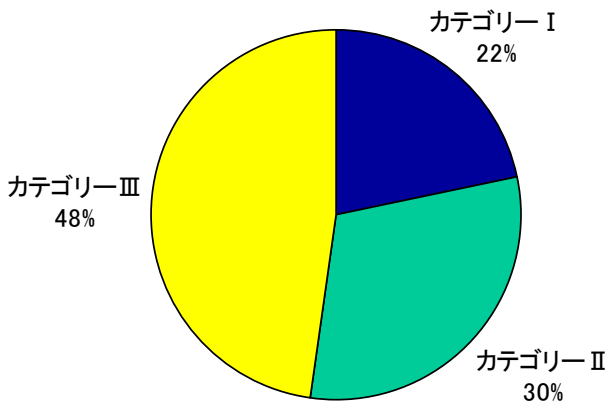
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

東部になるほど、三陸沖北部の地震に代表される海溝型の地震(カテゴリーⅠ、Ⅱ)や、宮城県沖地震(カテゴリーⅠ)の影響を受けて、確率・震度ともに大きくなります。また、河川沿いや盆地、沿岸部の低地では、北上山地などの山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

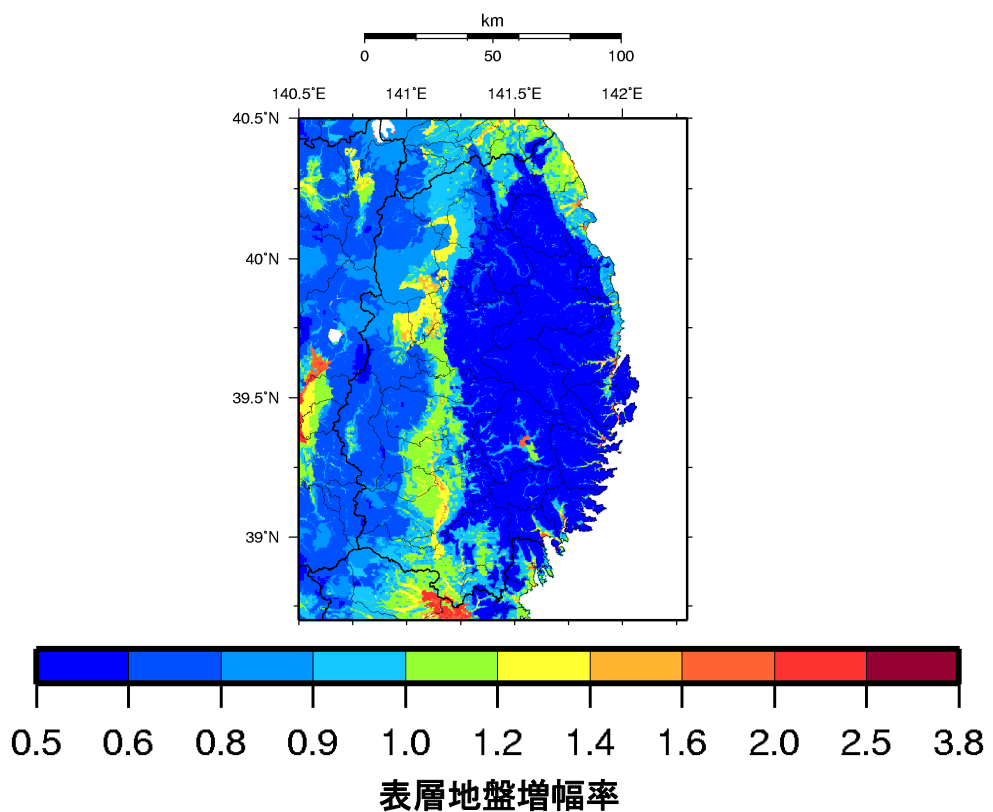
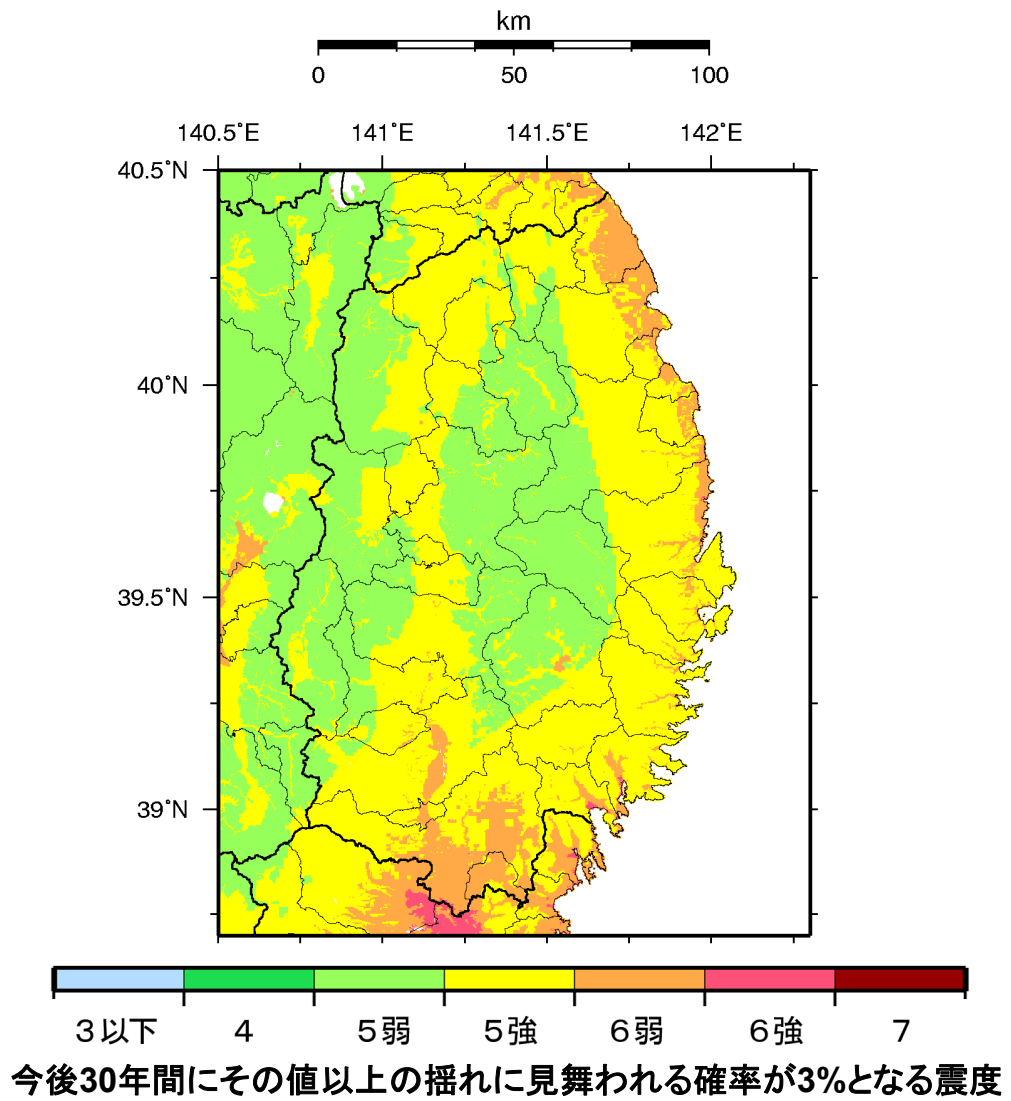
盛岡市役所：やや高い。

活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。次いで、三陸沖北部の地震に代表される海溝型の地震(カテゴリーⅠ、Ⅱ)の影響度も高くなっています。

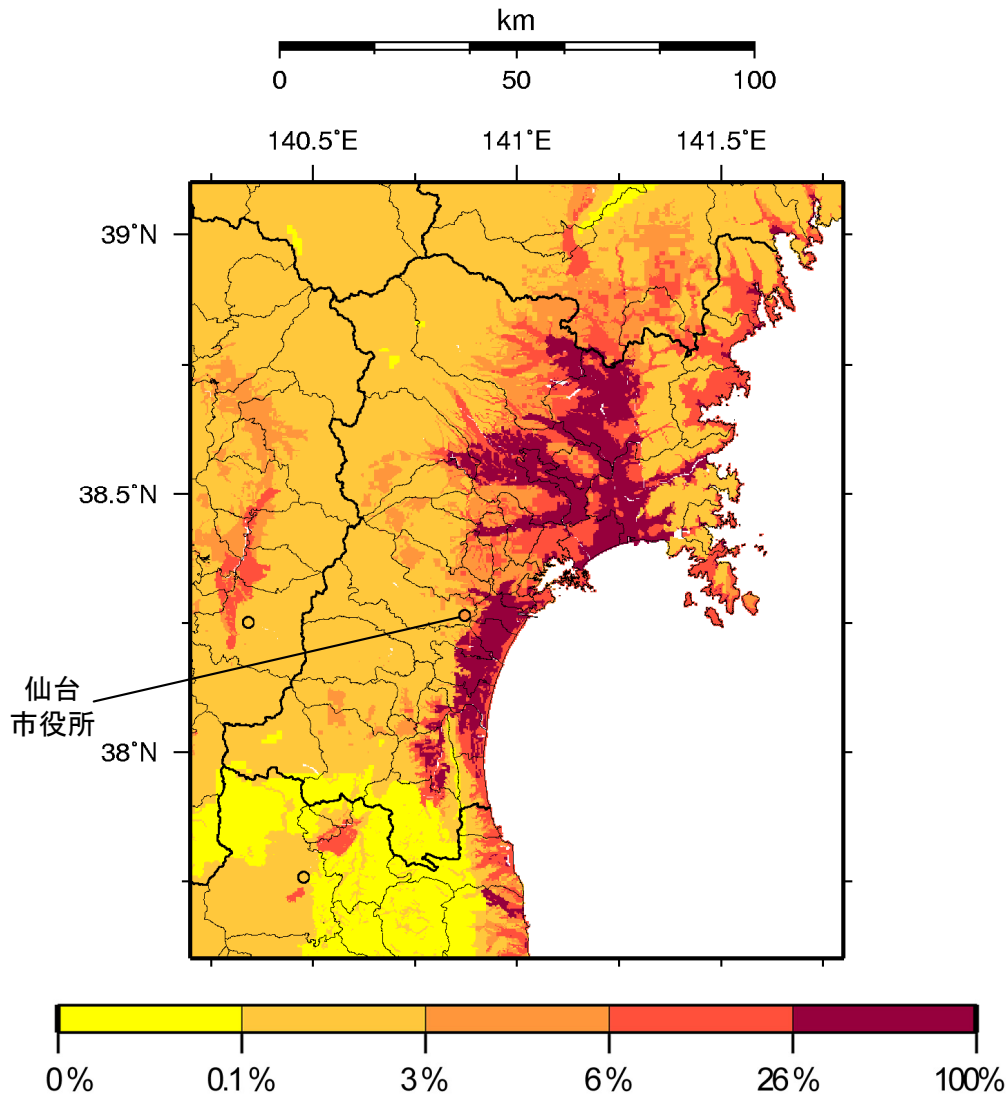


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

盛岡市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



宮城県



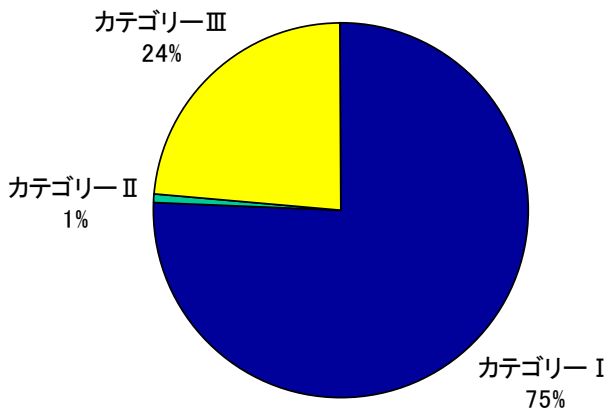
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

仙台平野や河川沿いの低地などでは、周囲の山地に比べると地盤増幅率が高く、宮城県沖地震(カテゴリー I)の震源域に近いこともあって、確率・震度ともに非常に大きくなります。

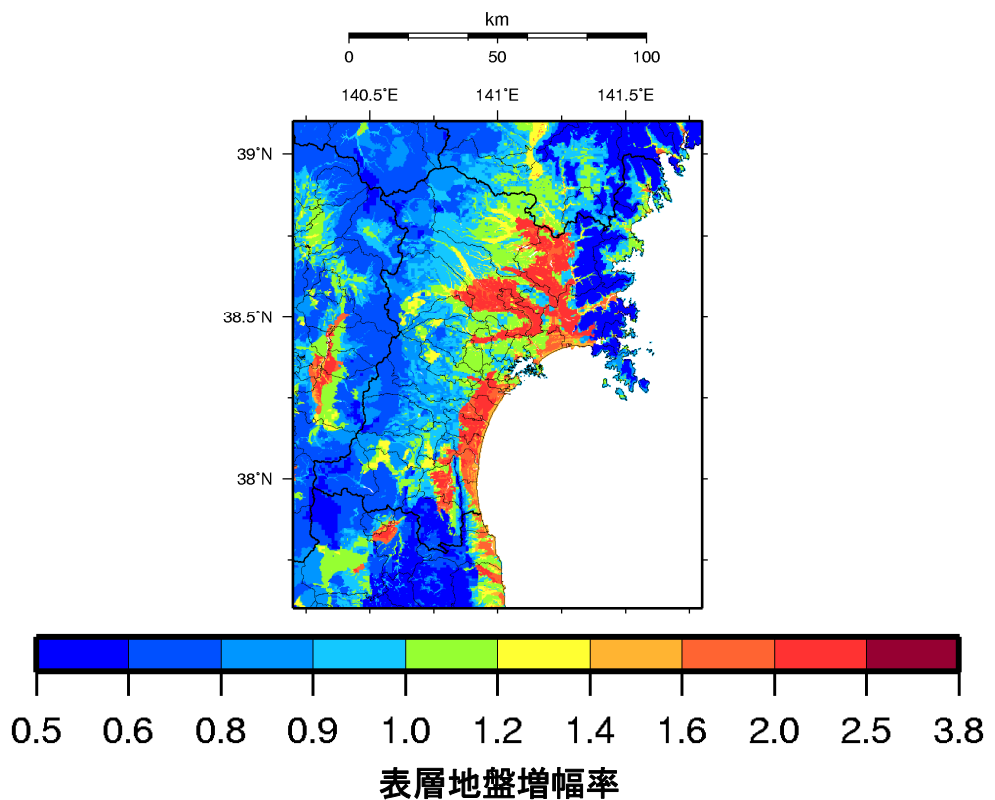
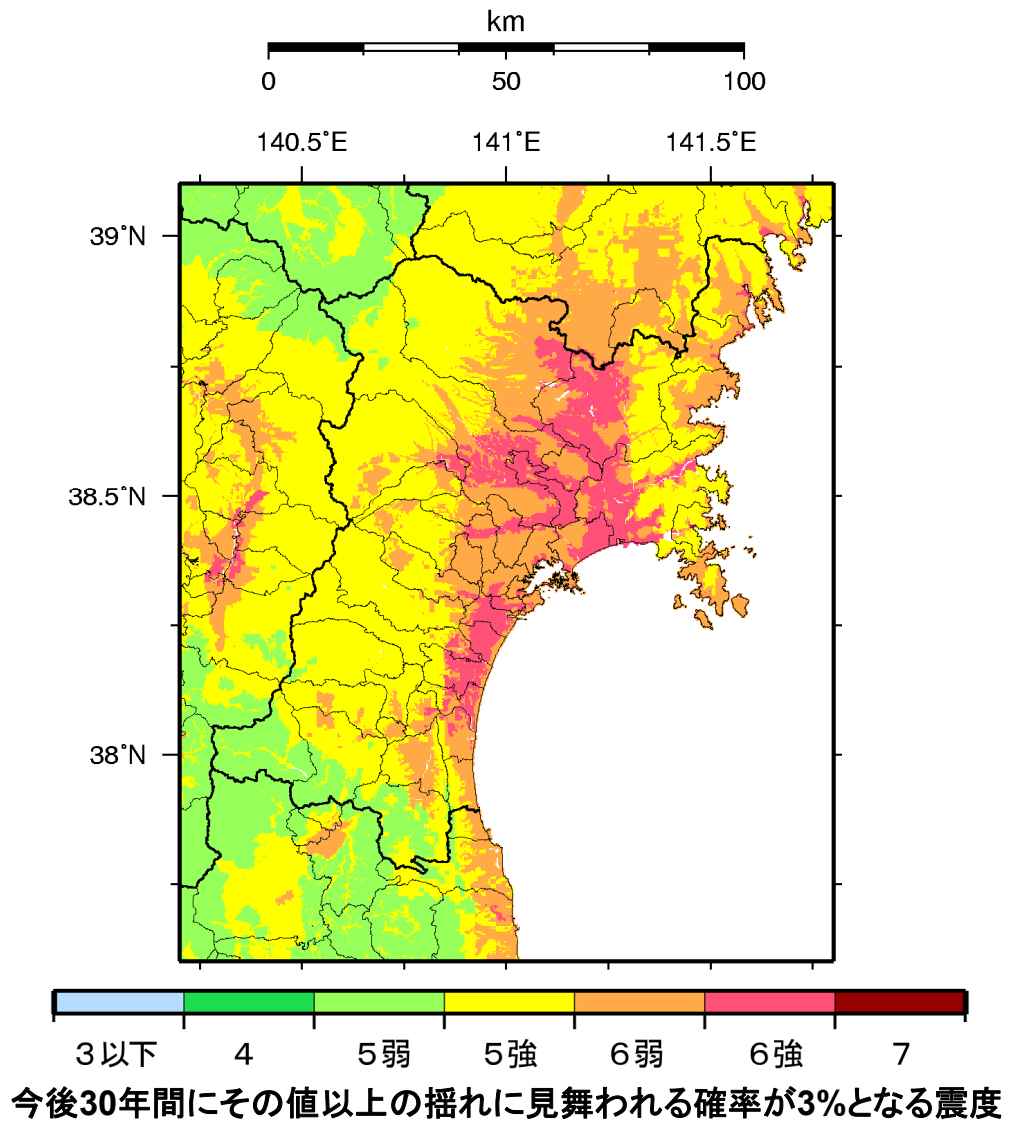
仙台市役所：高い。

今後30年以内の地震発生確率が99%以上という宮城県沖地震(カテゴリー I)の震源域に近いため、その地震の影響度が非常に高くなっています。また、長町-利府線断層帯の地震(カテゴリー III)の影響も見られます。

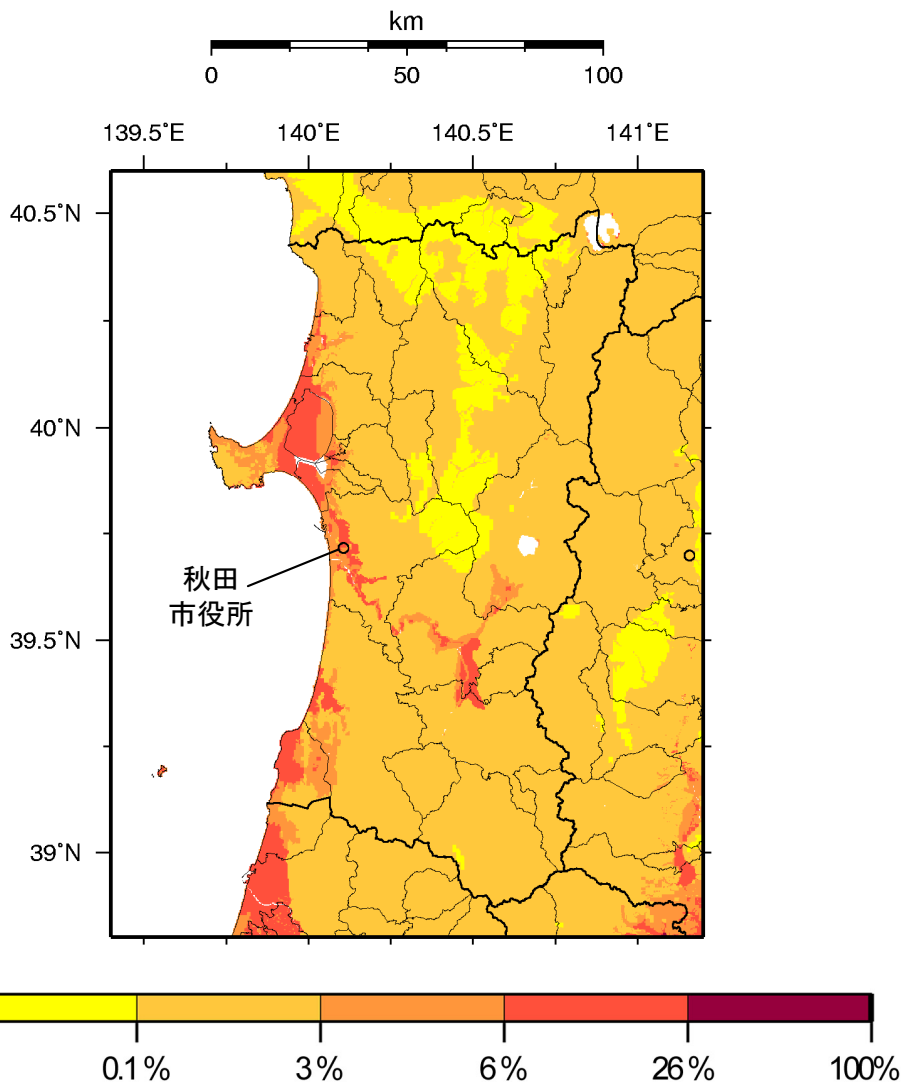


カテゴリー I：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
カテゴリー II：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
カテゴリー III：活断層など陸域と海域の浅い地震

仙台市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



秋田県



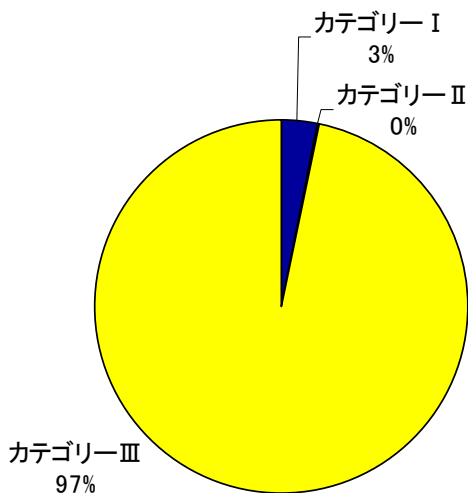
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

日本海沿岸の平野（能代平野、秋田平野、本庄平野）や盆地（大館盆地、横手盆地など）、河川沿いでは、周辺の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

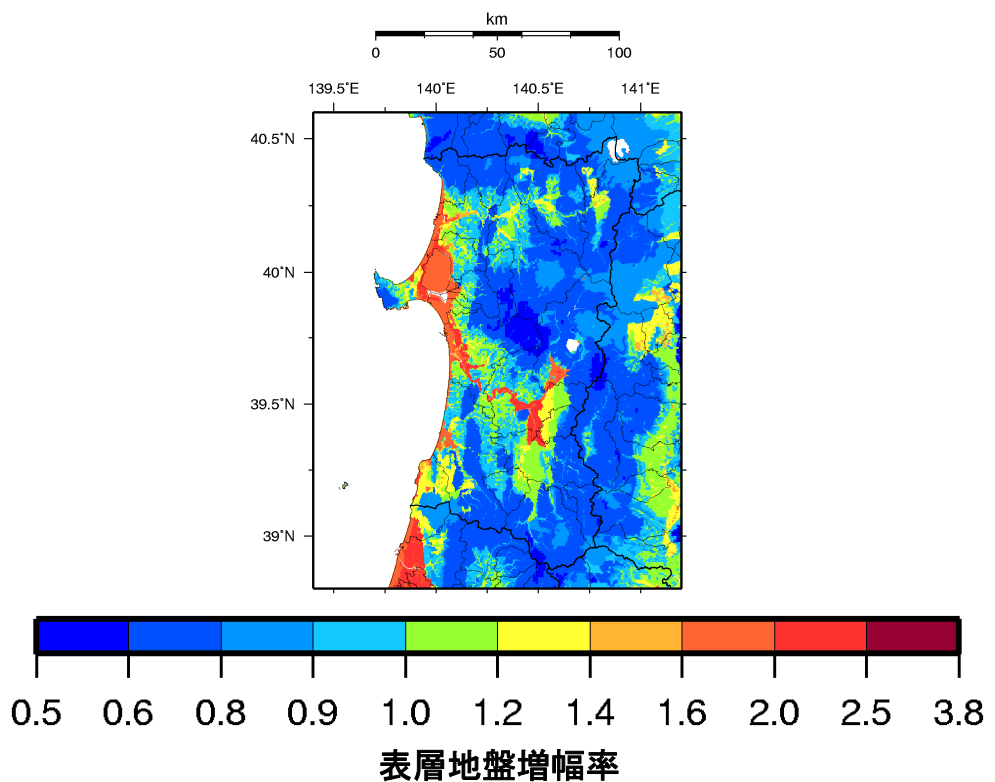
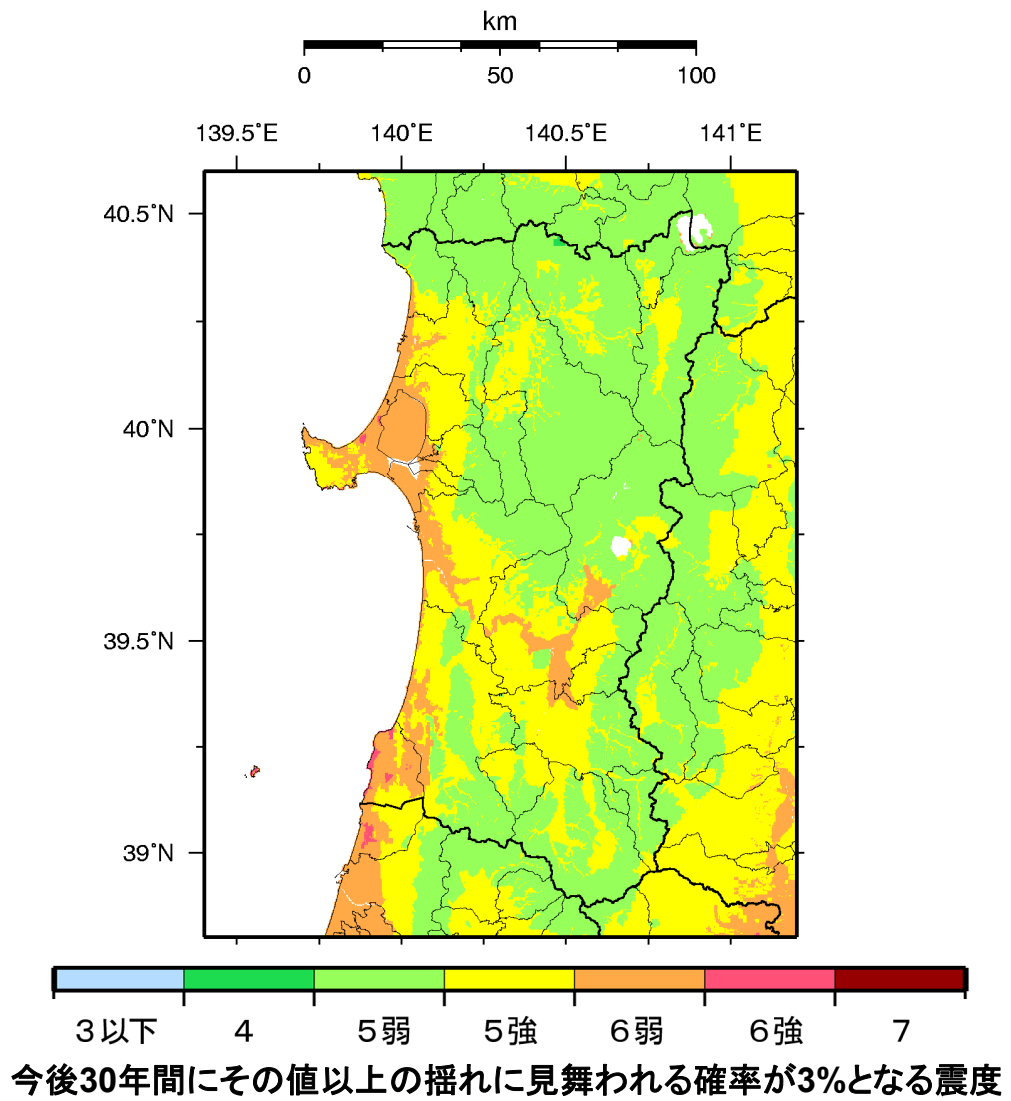
秋田市役所：高い。

カテゴリⅢの地震の影響度が最も高く支配的です。主に、秋田県沖の地震や、活断層が特定されていない場所で発生する地震によると考えられます。佐渡島北方沖の地震や、日本海東縁部の震源断層を予め特定しにくい地震の影響も見られます（以上全てカテゴリⅢ）。

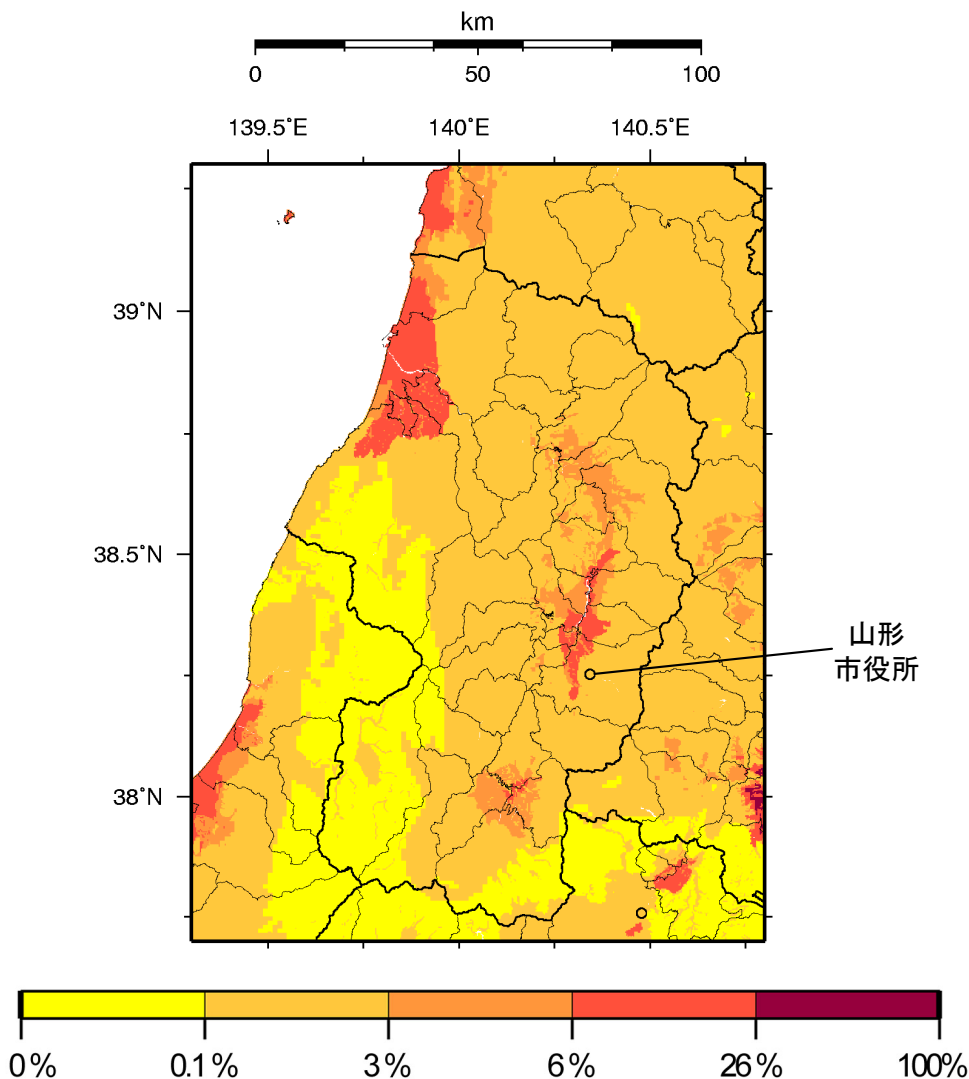


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

秋田市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



山形県



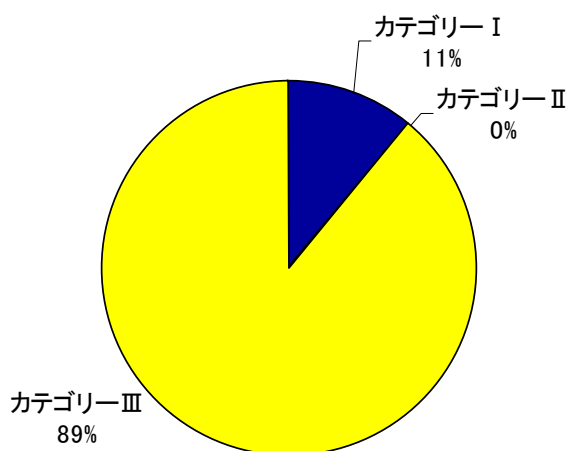
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

日本海沿岸の庄内平野や、河川沿いの山間の盆地（新庄盆地、山形盆地、米沢盆地）では、周辺の山地に比べると地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

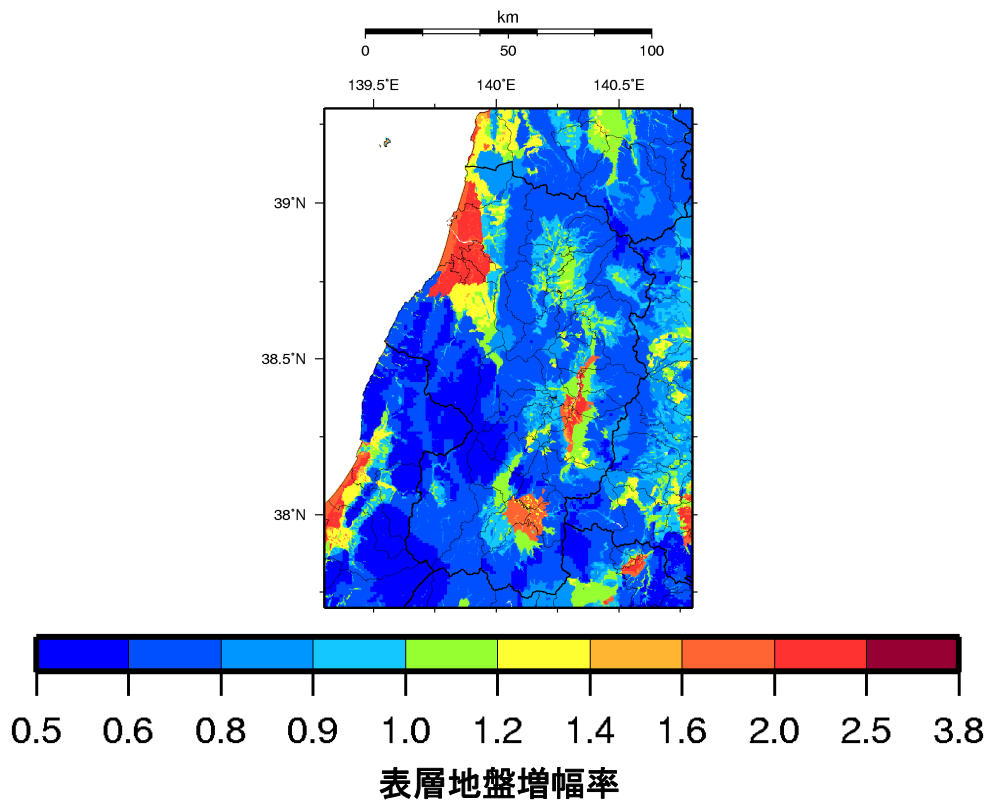
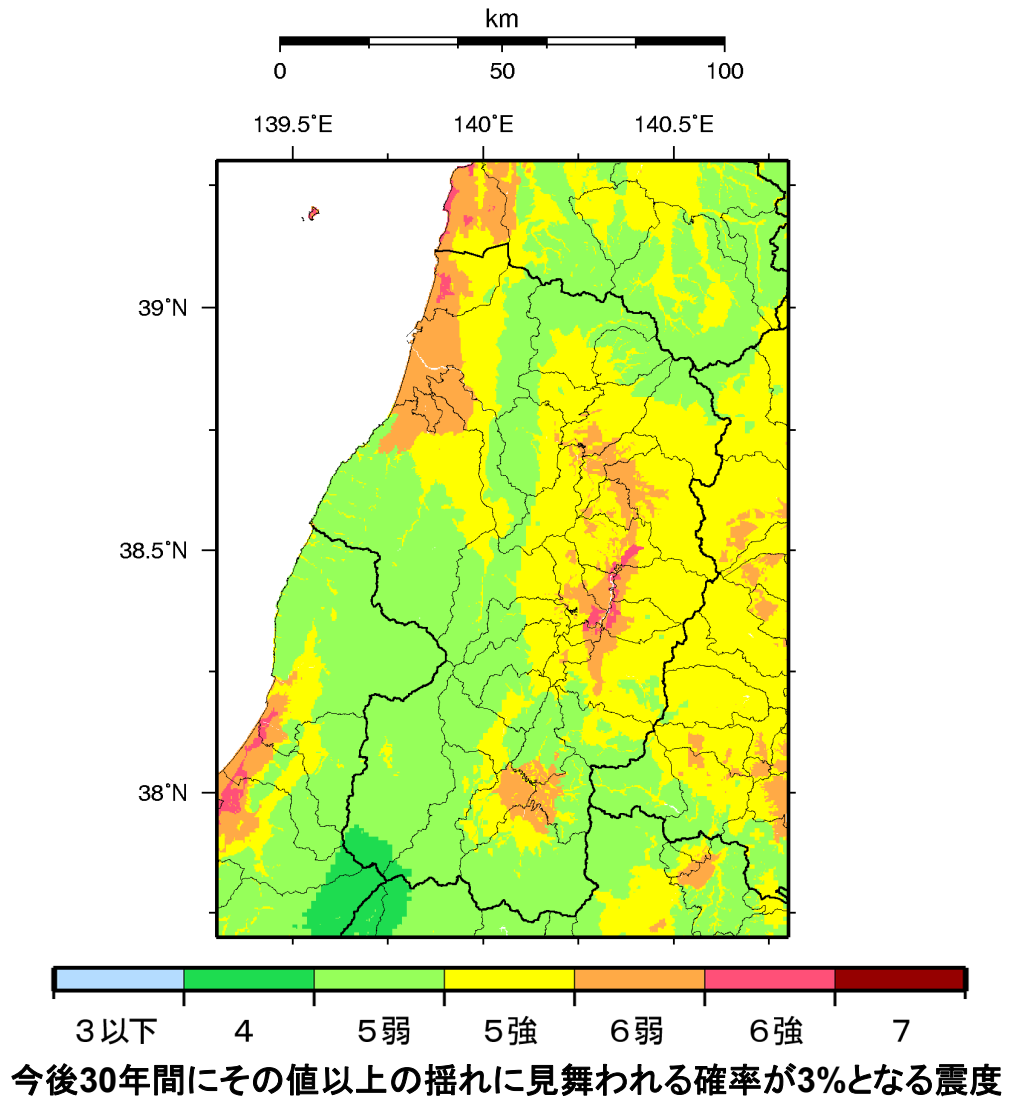
山形市役所：やや高い。

カテゴリⅢの地震の影響度が最も高く支配的です。主に、山形盆地断層帯北部および南部の地震や、活断層が特定されていない場所で発生する地震によると考えられます。また、宮城県沖地震（カテゴリⅠ）の影響も見られます。

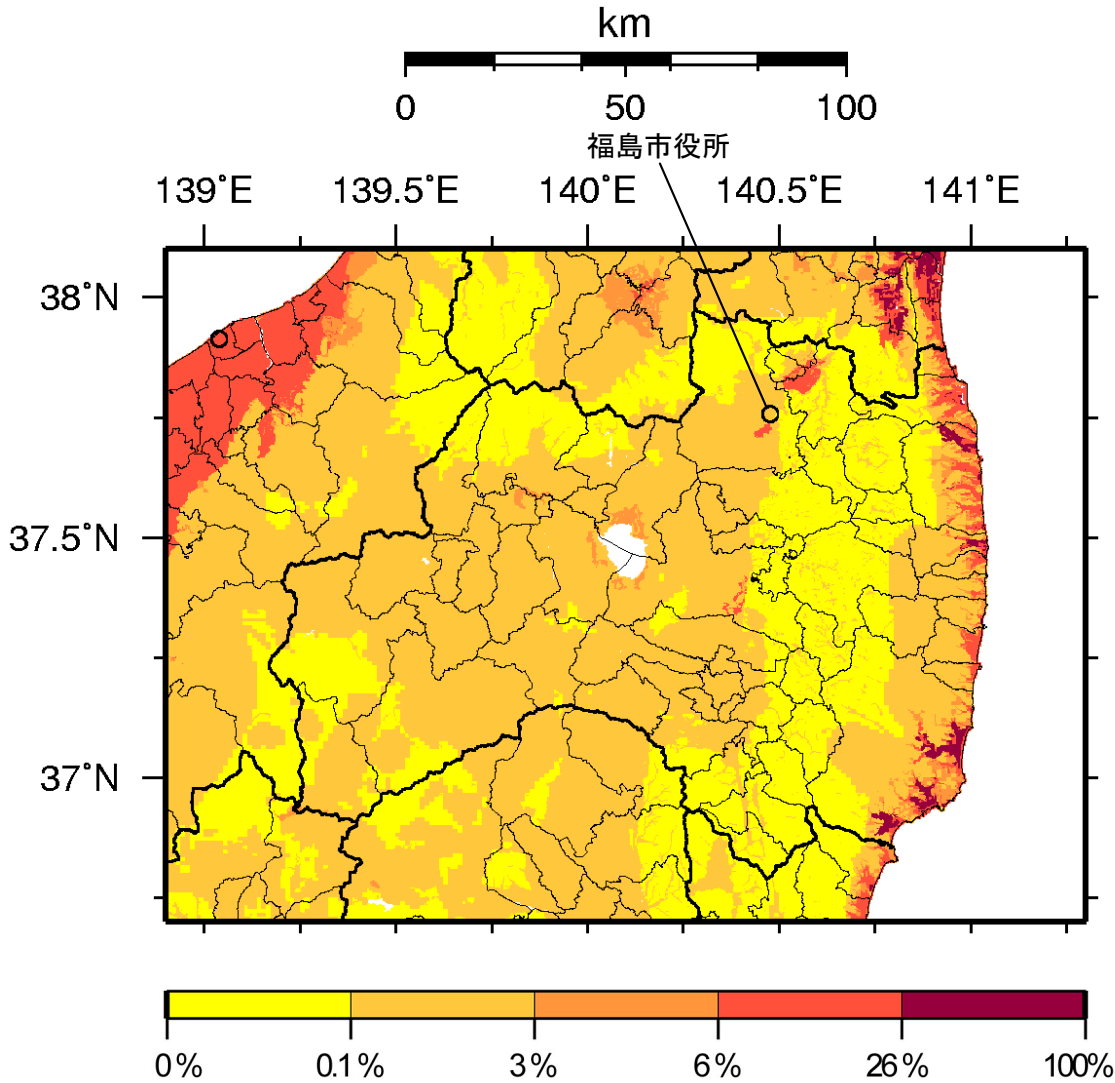


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

山形市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



福島県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

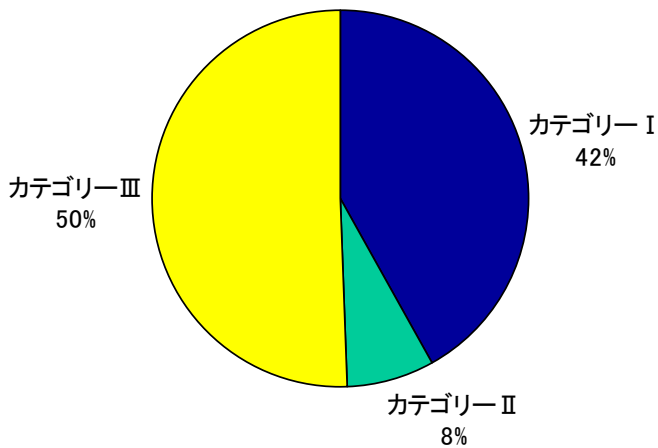
地図概況

山地（阿武隈山地、奥羽山脈、越後山脈など）に比べると、太平洋沿岸の平野部や山間の盆地（福島盆地、郡山盆地、会津盆地など）、河川・湖沼沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

福島市役所：やや高い。

カテゴリⅢの地震の影響度が最も高くなっています。主要活断層帯以外の活断層に発生する地震や、活断層が特定されていない場所で発生する地震によると考えられます。また、宮城県沖地震（カテゴリⅠ）の影響度も相対的に高くなっています。

カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震



福島市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度

